

治験管理センターだより

第27号

島根大学医学部附属病院治験管理センター発行 (2010.12)

Merry X'mas



and happy new year



一年の終わりを迎えて、寒さが増してきましたが、夏の暑さが一番印象深かった一年だったように感じます。皆さまにはどのような一年を過ごされましたでしょうか。

今年も治験にご協力いただき、本当にありがとうございました。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

来年もまた、幸せに満ちた明るい一年でありますように。

治験候補患者登録システムがスタートしました

治験実施率の向上と受託件数増加を目的として、10月15日から治験候補患者登録システムがスタートしました。

JAPICや製薬協から収集した実施予定・実施中の治験に関する情報と、各科から提出していただいた治験実施可能な疾患の情報を基に、診療科別に疾患名を電子カルテ上に提示して候補となる患者さんを登録していただく仕組みです。ご登録いただいた状況を集計したリストを3か月ごとに科別に配布させていただく予定にしています。

併せて治験実施および候補症例登録に対するインセンティブも新設されました。

このシステムにより、新薬開発中の疾患で受診されている患者さんのスクリーニングが効率的に実施でき、治験受諾の増加につながることを期待されます。

本システムをぜひご活用ください。

登録方法などのお問い合わせは、治験管理センター（下記TELまたはe-mail）までお願いいたします。

治験管理センター主催：特別講演会を今年度も開催予定です。詳細は後日お知らせ致します。みなさまのご参加をお待ちしております。

治験の豆まき知識

【治験と臨床試験の違いとは？】

治験・臨床試験・臨床研究を区別するために図で表すと左図のようになります。

臨床研究は、さまざまな症例報告や調査を含めた研究を表す言葉です。

その一部である臨床試験は、人を対象に治療を兼ねた試験を行う中での、薬の効果の追跡調査や、既存の薬の別の効能の調査・確認など、幅広い領域の試験を指します。

その中で、厚生労働省への事前の届け出を必要とし、将来、製造販売の承認を受けるための新薬の開発に限定した臨床試験が治験です。治験は、新薬の安全性と有効性を確立するための大切な試験です。

さまざまな試験を経て新薬として承認を受けられるのは約6000分の1といわれています。

(出典：製薬協「くすり」と「治験」改訂第4版 ほか)

臨床研究

臨床試験

治験

進行・募集中の治験

機能的ディスパプシア 関節リウマチ
原発性骨粗鬆症 心房細動 子宮頸癌
統合失調症 再発・難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 癌性突出痛 慢性疼痛 II型糖尿病